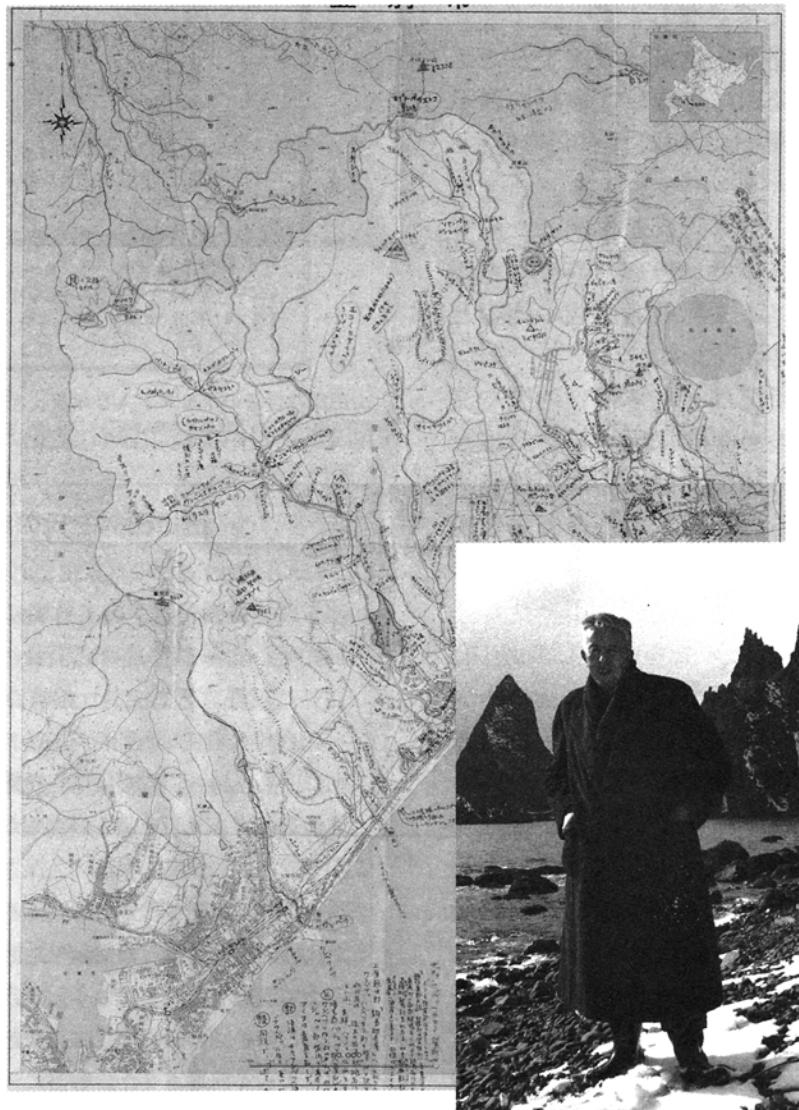


アイヌ民族文化研究センターだより NO.21

2004年9月

もくじ

・展示ポスターより	1	・寄贈を受けた資料	5
・企画展 アイヌ語地名を歩く	2	・「アイヌ民族文化研究センターだより」11~20号の総目次	
・山田秀三文庫の音声資料	3	7	
・アイヌ史関係新聞資料の調査研究:胆振・日高地方	3	お知らせ	8



企画展「アイヌ語地名を歩く」ポスターより

地図：アイヌ語地名などを書き込んだ登別市の管内図

(登別市役所、縮尺5万分の1。1970年か) (資料番号YM0002-06)

写真：室蘭市の海岸に立つ山田秀三氏 (資料番号YP1305-008-19)

企画展

アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－

アイヌ語地名研究で知られる故・山田秀三氏（1899～1992）の研究資料は、ご遺族から平成6（1994）年に当センターに寄贈され、「山田秀三文庫」と名づけて整理作業を続けてきました。

資料の概要や整理作業の内容については、既にこの広報紙上（2号、3号、5号、7号）で報告しているとおりです。また資料目録として、図書、音声映像、文書Ⅰ、文書Ⅱ（地図）、文書Ⅲ・写真の5冊を刊行してきました。

寄贈以来10年間の整理作業がほぼ終了したことから、今後の資料公開に先駆けて資料の展示を企画しました。（開催日時等は8ページ参照）

* * *

展示では、実際に山田秀三氏が作成した研究資料や、研究に用いた参考資料などの実物を用いて、山田秀三氏のアイヌ語地名研究の内容と特徴をわかりやすく説明します。

山田秀三氏の地名研究は、先ず古い地図や文献を調べ、それに基づき実際に現地を訪ね地形を確認するといった方法や、似た名前の地名を数多く調べて、それらの結果を重ね合わせながら論証を行うといった手法を取りました。

今回は、山田秀三氏が地名研究に用いた参考資料や現地調査に用いたメモを記入した地図、撮影写真、更にそれらに基づいて調査後に作成したファイルなどを、氏の調査の足跡をたどりながら、調査した地域や時代別に展示します。

また、山田秀三氏はアイヌ語地名の研究以外に、アイヌ文化や北海道の文化財にも深い関心を持っていました。その過程で作られた映像資料などの展示も予定しています。

北海道の地名の多くは、アイヌ語に由来しています。山田秀三氏の残した地名研究資料は、他に類をみないほど貴重なものです。これらの地名研究資料をとおして、アイヌ文化の一端に触れていただきたいと思います。

期間中には「アイヌ語地名研究をめぐって」と題した講演会も予定しています。



山田氏は自筆のイラスト入り年賀状を親しい人に送っていた。

山田秀三氏の略歴

1899（明治32）年東京生まれ。東京帝国大学法学部を経て農商務省、商工省等に勤務。1945年退官。1949年、北海道曹達株式会社の設立時に請われて社長に就任。のち会長、相談役を歴任。

1941年に着任した仙台鉱山監督局長時代に東北の地名に関心を持ち、戦後は自ら「道楽」と称して東北・北海道のアイヌ語地名を調査した。金田一京助氏の薰陶を受け、知里真志保氏、久保寺逸彦氏と交友関係を持ち、アイヌ語や古代史に関する深い知見を有していた氏の研究は、既存の文献や地図を徹底的に調べ、その上で現地を確認していくという実証的な方法であった。この手法の確立は、アイヌ語地名研究の水準と蓄積を大きく前進させた。著書に『アイヌ語地名の研究』、『山田秀三著作集』、『北海道の地名』など。

また北海道文化財保護協会、アイヌ無形文化伝承保存会の創設に参画し役員をつとめるなど、アイヌ文化及び北海道の文化財に関する活動でも重要な足跡を遺した。

公開資料の紹介**山田秀三文庫の音声資料**

センターでは、平成15年度より所蔵資料を公開しています。

16年度からは山田秀三文庫の音声資料のうち11点を公開しましたが、これらには、沙流川の下流域や幌別地方のアイヌ語地名に関する聞き取りなどが含まれています。

山田秀三氏による沙流川下流域での地名調査の録音は、1967年7月から10月にかけて数回に渡り、平賀さだ氏（1895～1971）をはじめとするこの地域の伝承者らより聞き取りを行ったときの記録です。

山田氏は、基本的に調査内容を録音で残すということはほとんど行いませんでした。ですからこれらの一連の録音は、語られている内容の豊富さだけでなく、山田氏の調査の実際がうか

がえるという点でも数少ない貴重な記録です。

これらの音声資料からは、山田氏が地図を示しながら聞き取りを行ったり、その後で実際にその地名の指す場所へ車で出かけて確認している様子などを聞くことができます。

* * *

山田秀三文庫の音声資料をはじめ、公開している音声資料は、センターの閲覧コーナーで聞くことができます。また、企画展「アイヌ語地名を歩く」開催中は、会場でも一部を試聴できるようにする予定です。

山田秀三文庫の写真資料や文書資料の中には上記の地名調査で用いた地図やノートなども含まれています。現在、それについても公開に向けて準備を進めています。

研究課題紹介**アイヌ史関係新聞資料の調査研究：胆振・日高地方**

新聞は、それが発行された時代の動きや社会の様子を反映する格好の素材であり、近現代の歴史にとって重要な資料の一つです。もちろん、後で述べるように、新聞の報道にも一定の限界があって、記事を資料として読むに当たってはいろいろと注意すべき点があります。それでも、特にアイヌ史の資料を見渡してみたとき、公文書など他の文献の記録も多いとは言えず、体験記録の類も、今となっては地域や時代によっては新たな聞き取りが難しくなりつつある中で、新聞記事は、他では得られない情報も多く含まれている点で貴重な資料となり得るものだと思います。

* * *

膨大な紙面の中から資料となり得るもの引き出すためには、先ず関係する記事の目録を作成していくことが必要であり、さらに資料として使うための条件整備として、記事を活字化していく等の作業が求められます。アイヌ史関係では、早くは北海道ウタリ協会編『アイヌ史

資料編4』（1989年）が、『北海道毎日新聞』『北海タイムス』（いずれも現在の『北海道新聞』の前身）を中心とした記事目録と主要な記事の内容を掲載しており、今なおこの種の目録類の中で基本的な業績としての位置を占めています。近年はこれ以外にも、全道紙を中心に記事目録やデータベースの作成が進んでいます※1。

しかしながら、道内の各地域で発行された新聞については、それぞれの地域の動向をより多く掲載している可能性がありながら、今なおまとまった調査が行われておらず、原資料やマイクロフィルムの所在も比較的限定されています。

近代アイヌ史の研究を進めるための基礎的作業の一環として、道内各地域で発行された新聞を調査し、関係記事の目録化などを進めていく

※1『アイヌ史新聞年表 小樽新聞（明治期）編』国学院短期大学コミュニティカレッジセンター、2004年、「樺太日日新聞」掲載のサハリン先住民族に関する記事データベース」「古河講堂「旧標本庫」人骨問題 報告書Ⅱ」北海道大学大学院文学研究科・文学部、2004年など。

ことが重要ではないか——この研究課題は、こうした問題関心に基づくものです。また、この研究は、先に山田伸一氏（北海道開拓記念館）と共同で公刊した『十勝毎日新聞』の記事目録と記事紹介^{※2}に引き続くものもあります。

今回取り上げた胆振・日高の特徴として先ず挙げられるのは、明治以降の統計でアイヌの人口が最も多い地域だという点です。このこととも関わって、現在は観光地としても有名になった白老など、アイヌ史上着目すべき場所や施設、出来事なども多く、新聞記事の調査から得られるものは多いのではないかと見込んでいました。

* * *

この研究課題に着手したのは、2001（平成13）年度からです。先ずこの地域で戦前に発行された新聞で現存するものの所在調査を行い、最もまとまって残っている『室蘭毎日新聞』（1921年以降1940年までがほぼ現存）を中心に、所在を確認できた全ての紙面に直接目を通して調査し、2003（平成15）年度末までに、おおよその調査を終えることができました。

この結果得られた関係記事は約1300点です。その中には、これまでの文献資料ではあまり知られていないと思われる記事（豊浦の給与地問題など）や、既に知られている出来事についても新たな情報を補ってくれる記事（1925年白老コタンでの八田三郎北大教授による映画撮影の様子を伝える記事など）が多く見られます。

中でも、『室蘭毎日新聞』紙上で1927（昭和2）年4月に11回にわたって連載された論説「アイヌより見たブルジョアジーの諸象」は、この時期に多く見られるようになったアイヌの様々な言論活動の中でも、ボリュームにおいても、当時広がりつつあったマルクス主義等への造詣といった内容においても、他に類を見ないものだと



思います。ただ残念なのは、「MK生」なる筆名で書かれており、記事の内容から、白老出身であることや金田一京助と書簡のやりとりをしていてこと等の手がかり

は得られるものの、未だ執筆者を絞り切っていないことです。

一方で、知里幸恵『アイヌ神謡集』（1922年）やバチェラーハ重子『若きウタリに』（1931年）の刊行のように、現在では比較的知られている事柄であっても、記事をほとんど見出せないものもあります。どのような出来事が報じられているかという点と同時に、報じられていない事柄にも注意を払う必要があります。更には、このような記事調査における「関係記事」とは、基本的には、見出しや文面からアイヌに関する記事であるとわかるものののみしかありません。同じ人物に関する記事であっても、その人がアイヌであると記されているかどうかで対象から漏れることもありえるのです。「関係記事」の括り方そのものについても、絶えず注意が必要だということを、自戒も込めて述べておきたいと思います。

* * *

この研究課題の成果については、白老町にある財団法人アイヌ民族博物館の研究報告に、収集した記事の目録と主要な記事の紹介を発表しています（前半を2004年3月発行の第8号に掲載、後半は今年度末発行予定の第9号に掲載）。また、記事も同館で閲覧できるよう準備を進めています。今後も引き続き、他の地域について調査研究を行い、より総合的な新聞資料のデータ化を進めたいと考えています。

（研究職員 小川正人）



※2 「十勝毎日新聞（1920-1939年）掲載アイヌ関係記事：目録と紹介」(1)(2)『帯広百年記念館紀要』第19、20号、2001、2002年

寄贈を受けた資料 (2004年4月~8月)

研究センターあてに寄贈を受けた資料について、「センターだより」紙上で紹介し、報告と受贈のお礼に代えることになりました。

寄贈者の五十音順に資料名を掲載しています(寄贈者の敬称は省略させていただきました)。

アイヌ文化振興・研究推進機構

- ・財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構収蔵品目録4 森資料
- ・アイヌ生活文化再現マニュアル 編む サラニブ、イオマンテ 熊の靈送り 料理編
- ・イオル再生等アイヌ文化伝承方策 基礎調査報告書
- ・一目でわかる先住民族の権利宣言 (ウハノッカ友の会)
- ・アイヌと自然シリーズ第3集 アイヌと植物 樹木編(第2版増補)、第4集 アイヌと植物薬用編
- ・アイヌ語で自然かんさつ図鑑
- ・アイヌ民族の文学と生活 (久保寺 逸彦著)
- ・アイヌの歴史と文化Ⅱ
- ・アイヌ語ラジオ講座テキスト 平成16年度Vol.2

アイヌ文化良書刊行会

- ・アイヌ民族の文学と生活 (久保寺 逸彦著)

青森県環境生活文化・スポーツ振興課県史編さんグループ

- ・青森県史 資料編 中世Ⅰ、近世 学芸関係、近現代3
- ・青森県史だより 第12号

青森県立郷土館

- ・調査研究年報 第28号
- ・青森県立郷土館報 平成16(2004) 年度版(通巻31号)
- ・青森県立郷土館だより 通巻129号、通巻130号
- ・蝦夷錦と北方交易 改訂版

厚真町教育委員会

- ・厚幌1遺跡

一誠堂書店

- ・古書肆100年

井筒勝信

- ・アイヌ語旭川方言コーパスに基づく 文法書編纂のための基礎研究
- ・アイヌ語旭川方言コーパスに基づく 辞書編纂のための基礎研究
- ・The Ainu Language : A Linguistic Introduction
- ・アイヌ語旭川方言資料集成 1

伊能忠敬記念館

- ・伊能忠敬記念館年報 第5号

井上寿

- ・コタン昆虫記(3)セミ篇、(4)チョウ篇、(5)甲虫篇新版

岩内町教育委員会

- ・岩内町東山1遺跡
- ・岩内町教育委員会
- ・アルドゥ ウイルタ協会会報24号

江戸東京博物館

- ・江戸東京博物館NEWS Vol.45、Vol.46

小樽市博物館

- ・稻垣益穂日誌V 小樽市博物館シリーズNo.13 [23~27巻] 帯広カムイトゥウボボ保存会
- ・SADAUEINO アイヌ伝統音楽 ウポボ集

帯広市図書館

- ・吉田巖資料集 17 帯広叢書第51巻

帯広百年記念館

- ・帯広百年記念館紀要 第22号
- ・ふるさとの語り部 第20号

海津町文化振興課

- ・海津町歴史民俗資料館 館報第4号

学習院大学史料館

- ・学習院大学史料館所蔵史料目録第19号 武藏国秩父郡上名栗村町田家文書 (六)

堅田精司

- ・北海道社会文庫通信 1-2000 [CD-ROM]

上士幌町ひがし大雪博物館

- ・上士幌町ひがし大雪博物館研究報告 26号

上ノ国町教育委員会

- ・町内史跡発掘調査事業報告書Ⅷ ワシリ遺跡分布調査
- ・史跡上之国勝山館環境整備事業 発掘調査資料編 出土遺物 (1)
- ・史跡上之国勝山館跡 26

木村英明

- ・小清水町アオシマナイ遺跡発掘調査報告書

九州歴史博物館

- ・九歴だより No.19
- ・九州の寺社シリーズ19筑後八女谷川寺
- ・九州歴史資料館年報 平成15年度

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

- ・日本伝統音楽センター研究紀要 日本伝統音楽研究 第1号、第1号別冊
- ・京都市立芸術大学日本伝統音楽センター所報 第3・4号

釧路公立大学

- ・釧路公立大学紀要 人文・自然科学研究 第16号

航空科学振興財団歴史伝承委員会

- ・2003年度 歴史伝承部会調査報告 (最終号)

高知県立牧野植物園

- ・高知県立牧野植物園 年報 第3号 (2003)

弘南堂書店

- ・弘南堂古書目 第45号 横太閤関係文献特輯

神戸市立博物館

- ・博物館だより No.84、No.85
- ・神戸市立博物館年報 No.19 平成14

年度

国学院短期大学コミュニケーションセンター

- ・アイヌ史新聞年表 小樽新聞(明治期)編
- ・北海道CATY 号外

国立公文書館

- ・アーカイブズ 第14号~第16号

国立民族学博物館

- ・民博通信 No.104、No.105
- ・国立民族学博物館研究報告 28巻3号、28巻4号
- ・研究年報 2002

小谷凱宣

- ・海外アイヌ資料にもとづくアイヌ文化の地域差・時代差に関する研究
- ・海外アイヌ・コレクション総目録

児玉マリ

- ・児玉コレクション目録 I 先史・考古資料編、II アイヌ民族資料編

札幌大谷短期大学

- ・札幌大谷短期大学紀要 第35号

札幌国際大学

- ・札幌国際大学紀要 第35号

札幌テレビ放送株式会社

- ・金の風に乗って

様似町教育委員会

- ・等樹院文書 第1~11集

- ・さまに的文化財

沙流川歴史館

- ・沙流川歴史館だより No.13

滋賀県立琵琶湖博物館

- ・伯母川博物館ものがたり
- ・琵琶湖博物館資料目録 10号 植物標本3
- ・琵琶湖博物館研究調査報告 21号 琵琶湖集水域における中世村落確立過程の研究、22号 アジア基層文化の探求
- ・琵琶湖博物館業績目録 7号 2002年度
- ・うみんど 琵琶湖博物館だより 第31号
- ・糸を紡いで布を織る 民具の復元・再現・体験

標茶町郷土館

- ・標茶町郷土館報告 第16号

世界人権宣言大阪連絡会議

- ・世界人権宣言大阪連絡会議ニュース No.261、No.262
- ・国際人権ひろば No.55

先住民族の10年市民連絡会

- ・先住民族の10年News 第103号~第106号

創童舎

- ・アイヌの歴史と文化Ⅱ

園部文化博物館

- ・博物館だより 第8号、第9号、第10号、第11号
- ・園部文化博物館報 第4号 平成13年度、第5号 平成14年度
- ・平成15年度夏季企画展 くらしの中の着物
- ・平成15年度特別展 園部の仏教文化
- ・園部町歴史散策マップ

- 千歳市教育委員会**
- ・千歳市文化財調査報告書31 トメト川3遺跡における考古学的調査
- 津田命子**
- ・Kari通信 10号
 - ・放送大学通信 ON AIR No.74
- 津曲敏郎**
- ・環北太平洋の言語 第11号
 - ・ツングース言語文化論集26 ウデへの二つの昔話
- 東北大東北アジア研究センター**
- ・東北アジア研究 第8号
 - ・東北アジア研究センター叢書 14号 明治・大正期における根岸町子規庵の風景、第16号 中国東北部白頭山の10世紀巨大噴火とその歴史効果
 - ・東北アジア アラカルト 第9号 東アジアの本とさし絵、第10号 「東北アジア」の現在・未来を考える
 - ・東北大東北アジア研究センター ニュースレター 第21号
- 東北電力株式会社広報・地域交流部**
- ・白い国の詩 通巻572号、通巻573号、通巻574号、通巻575号、通巻576号
- 徳島県立文書館**
- ・文書館だより 第22号
 - ・第28回資料紹介展 写真で見る徳島の橋
 - ・特別企画展 歴史資料に見る阿波の人形淨瑠璃
 - ・徳島県立文書館年報 平成15年度版
- 苫小牧駒澤大学**
- ・苫小牧駒澤大学紀要 第11号
- 苫小牧市博物館**
- ・館報 第1号（平成14年度）
 - ・苫小牧市博物館だより No.53
 - ・第47回特別展 川上澄生の世界 南蛮文化・文明開化・苫小牧 解説パンフレット
- 泊村教育委員会**
- ・掘株1遺跡
- 富山県〔立山博物館〕**
- ・年報 2004年第13号
 - ・研究紀要 第11号
- 長澤政之**
- ・場所請負下のアイヌの狩猟〔アジア文化史研究第2号抜刷〕
 - ・場所請負制下、子モロ場所におけるアイヌの漁場労働〔歴史 第101輯抜刷〕
 - ・場所請負制崩壊期、子モロ場所の漁業生産と和人労働者の動向〔アジア文化史研究第4号抜刷〕
- 長野県立歴史館**
- ・長野県立歴史館年報 第6号（2003年度）
 - ・長野県立歴史館たより Vol.39
- 浪岡町史編さん室**
- ・浪岡町史 第2巻
- 名寄市北国博物館**
- ・北国研究集録 第8号
- 奈良県立民俗博物館**
- ・奈良県立民俗博物館研究紀要 第20号
 - ・奈良県立民俗博物館だより 第30巻 第1・2号、第30巻第3・4号
- 新冠町教育委員会**
- ・明和3遺跡
- 沼津市明治史料館**
- ・沼津市明治史料館通信 第19巻第2~4号、第20巻第1号
- 根室市博物館開設準備室**
- ・根室市博物館開設準備室紀要 第18号
 - ・根室市博物館開設準備室だよりNo.19
- 浜頓別町**
- ・アイヌ語解説
 - ・筆しづく
- パリ日本文化会館図書館**
- ・パリ日本文化会館図書館ニュースレター 特別号
- 反差別国際運動日本委員会**
- ・IMADR-JC通信 No.131
- 平取町二風谷アイヌ語教室**
- ・二風谷アイヌ語教室 広報紙第75号
- 仏教大学文学部**
- ・文学部論集 第88号
- 部落解放・人権研究所**
- ・研究所通信 No.307~No.311、号外〔第59回総会議案書〕、号外〔60回総会議案書〕
 - ・世界人権宣言大阪連絡会議ニュース No.259~263
 - ・部落解放・人権研究所としての第1次人権教育のための国連10年行動計画の総括を踏まえた第2次行動計画
 - ・国際人権ひろば No.54
- 文化学園図書館**
- ・図書館だより No.136
- 北海学園大学学術研究会**
- ・学園論集 第119号、第120号
- 北海道浅井学園大学図書館**
- ・北海道浅井学園大学短期大学部研究紀要 第42号
- 北海道ウタリ協会**
- ・先駆者の集い 第98号
- 北海道開拓記念館**
- ・2003 要覧
 - ・北海道開拓記念館研究紀要 第32号
 - ・北海道開拓記念館調査報告 第43号
 - ・第58回特別展 松浦武四郎 時代と人びと
 - ・北海道開拓記念館だより 第33巻第4号、第34巻第1号
 - ・'04移動博物館 刷って、伝える印刷再発見
 - ・見誤った伝統？ アイヌの機織り技術 豆本40
- 北海道教育委員会生涯学習部文化課**
- ・アイヌ民俗文化財 ユーカラシリーズ26 海の妖精十二人の兄妹
 - ・トゥイタク（昔語り）5 アイヌ無形民俗文化財記録刊行シリーズ17
 - ・平成15年度 アイヌ民俗文化財調査報告書 アイヌ生活技術伝承実態調査V
 - ・平成15年度 知里真志保フィールド
- ノート (3)**
- 北海道大学総合博物館**
- ・北大自然史タイプコレクション
 - ・北海道大学大学院水産科学研究科・水産学部
 - ・海洋調査漁業試験要報 第47号
- 北海道大学文学部古河講堂「旧標本庫」人骨問題調査委員会**
- ・古河講堂「旧標本庫」人骨問題 報告書II
- 北海道中央農業試験場**
- ・北海道中央農業試験場年報 平成15年度
- 北海道文化財保護協会**
- ・北海道の文化 76
 - ・文化情報 第264号~第266号
- 北海道埋蔵文化財センター**
- ・森町 潛川左岸遺跡 A地区 北海道埋蔵文化財北海道立センター調査報告書 第208集
- 北海道立地質研究所**
- ・地質研究所ニュース Vol.20 No.1
- 北海道立中央農業試験場**
- ・北海道立農業試験場集報 第86号
- 北海道立文書館**
- ・北海道内私文書所在情報一覧 第1集
 - ・北海道立文書館所蔵資料目録19
 - ・大蔵省開拓使会計残務整理委員文書 (2)
 - ・北海道立文書館所蔵公文書件名目録19 札幌県治類典 (8)
 - ・北海道立文書館史料集 第19 北海道庁例規集 第1期 庁令布達編 (六)
 - ・北海道立文書館研究紀要 第19号
- 北海道立北方民族博物館**
- ・北海道立北方民族博物館研究紀要 第13号
 - ・第18回北方民族文化シンポジウム報告 北太平洋沿岸の文化：文化接触と先住民社会
 - ・北方民族博物館だより No.53
- 南山大学人類学研究所**
- ・海外のアイヌ文化財 現状と歴史 第17回「大学と科学」公開シンポジウム発表収録集
- ヤイユーカラの森**
- ・Yay Yukar Park 46、47
- 余市町教育委員会**
- ・国指定史跡 フゴッペ洞窟 保存調査事業報告書
 - ・余市町 大川遺跡
 - ・大川遺跡における考古学的調査 I
 - ・国指定史跡 フゴッペ洞窟 1950-2003
 - ・余市町の文化財
- 利尻町立博物館**
- ・利尻研究利尻町立博物館年報 第23号
- 早稲田大学語学教育研究所アイヌ語講座**
- ・2003年度早稲田大学語学教育研究所 アイヌ語講座 アイヌ語アイヌ文化体験学習旅行 報告集

「アイヌ民族文化研究センターだより」11号～20号の総目次

1～10号分は11号に掲載しています。() 内は執筆者の職・氏名です。

No.11 (1999年9月30日発行)

- ・ [フィールドからデスクから] 「加賀家文書」について
(非常勤研究職員・佐藤知己)
- ・ 山田秀三文庫の整理作業 その5
(研究職員・小川正人)
- ・ [問い合わせあれこれ] アイヌの歌や踊りの視聴覚資料
(研究職員・甲地利恵)
- ・ 「センターだより」1号～10号までの総目次

No.12 (2000年3月24日発行)

- ・ [共同研究から] サンクトペテルブルグのアイヌ資料調査 4
(研究課長・古原敏弘)
- ・ [フィールドからデスクから] ウェベケレ イエ!イエ!
(昔話を言って!言って!) (研究職員・大谷洋一)
- ・ [問い合わせあれこれ] 「アイヌ人形」について教えてください
(研究職員・小川正人)

No.13 (2000年9月29日発行)

- ・ [フィールドからデスクから] 極東のバラートシ・バログ
資料調査 (所長・谷本一之、研究課長・古原敏弘)
- ・ [問い合わせあれこれ] アイヌ語の辞典について
(研究職員・澤井春美)
- ・ [アイヌ語一口メモ] ピリカ pirka
(研究職員・大谷洋一)
- ・ 『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』
1号～5号の総目次

No.14 (2001年3月21日発行)

- ・ [フィールドからデスクから] ムックリの音
(研究職員・甲地利恵)
- ・ [問い合わせあれこれ] アイヌの衣服の文様の名前や意味を教えてください。
(研究職員・貝澤太一)
- ・ [共同研究から] 教育雑誌のアイヌ関係記事調査
(研究職員・小川正人)
- ・ [著作紹介] 山田 秀三

No.15 (2001年9月28日発行)

- ・ [フィールドからデスクから] 現代の「アイヌ書誌」をめざして
(研究職員・小川正人)
- ・ [問い合わせあれこれ] アイヌ語で1月から12月の言い方はありますか?
(研究職員・大谷洋一)
- ・ [共同研究から] 小泉文夫記念資料室のアイヌ音楽資料の調査・整理・公開
(研究職員・甲地利恵)

- ・ [著作紹介] 知里 真志保

No.16 (2002年3月25日発行)

- ・ [共同研究から] 『本別町生活文化誌』の編さんに参加して
(研究職員・澤井春美)
- ・ [問い合わせあれこれ] アイヌの伝統的な踊りや歌を、実際に見たり聴いたりすることができますか。
(研究職員・甲地利恵)

- ・ [著作紹介] 金田一 京助

No.17 (2002年9月30日発行)

- ・ [共同研究から] ロシアのアイヌ資料調査
(研究課長・古原敏弘)
- ・ [問い合わせあれこれ] アイヌの人口の移りかわりを知ることができますか?
(研究職員・小川正人)
- ・ [著作紹介] 久保寺 逸彦

No.18 (2003年3月25日発行)

- ・ [フィールドからデスクから] アットウシの歴史を考える
(非常勤研究職員・本田優子)
- ・ [研究課題紹介] 「学校と地域の歴史を通した近代アイヌ史の調査研究」について (研究職員・小川正人)
- ・ [こんなときは] アイヌ音楽について調べる
(研究職員・甲地利恵)

No.19 (2003年9月30日発行)

- ・ [フィールドからデスクから] 入門書紹介－知里真志保『アイヌ語入門』 (非常勤研究職員・佐藤知己)
- ・ [研究課題紹介] 「「ピリカ会」関係資料の調査研究」について (研究課長・古原敏弘、研究職員・小川正人)
- ・ [こんなときは] クマが登場する物語を知りたい
(研究職員・大谷洋一)

No.20 (2004年3月25日発行)

- ・ [研究課題紹介] 「久保寺逸彦文庫」の写真資料
(研究課長・古原敏弘)
- ・ [こんなときは] 人物の足跡や関係する資料について知りたい
(研究職員・小川正人)
- ・ [フィールドからデスクから] カムイの声を聞くということ
(研究職員・大谷洋一)

行事など

本号2ページでお伝えしたとおり、企画展を次のとおり開催します。11月3日には講演会を行います。

アイヌ語地名を歩く 一山田秀三の地名研究からー

期 間 10月30日（土）～11月28日（日）
9:30～17:00（展示室入場は16:30まで）
(期間中は11月8、9、15、22日が休館日です)

会 場 北海道立文学館（下図参照）

講演会 「アイヌ語地名研究をめぐって」
講師 萩中美枝氏（アイヌ口承文芸研究者）
「山田秀三と知里真志保の地名調査」
講師 切替英雄氏（北海学園大学助教授）
「山田秀三のアイヌ語地名研究」
日時 11月3日（水・祝日）14:00～16:30
会場 文学館講堂
定員 80名（予約は10月20日から。聴講希望の方は、電話で北海道立文学館へお申込み下さい）

入場料 企画展、講演会とも無料です。なお、文学館の常設展示への入場には、別途料金が必要です。

〈北海道立文学館〉

札幌市中央区中島公園1-4
電話 011-511-7655（代）FAX 011-511-3266
<http://www5.ocn.ne.jp/~hbungaku/>



交通案内

地下鉄南北線中島公園駅（①番出口）
もしくは幌平橋駅（①番出口） 下車徒歩7分
※公園内につき、ご来館には公共交通機関をご利用下さい。

センターの刊行物

- 9月までに次の2点の刊行物を発行しました。
- ・『アイヌ民族文化研究センターだより』21号
 - ・『北海道立アイヌ民族文化研究センター年報』

●年報を発行しました

当センター開設から10年を迎え、職員採録資料や山田秀三文庫・久保寺逸彦文庫の公開開始など、事業内容も少しづつ拡充しています。そこで新たに、センターの概要及び1年間の業務実績をまとめた『北海道立アイヌ民族文化研究センター年報』を発行することにしました。1冊目である今回は、平成15年度の業務内容を中心にまとめています。

年報は、関係各機関に配布するほか、紙面をセンターのホームページに掲載します。

●リーフレットを改訂しました

センターのあらましを紹介したリーフレットについても、この機会に内容と装いを新たにした改訂版を作成しました。

ホームページ版「センターだより」

これまでに刊行した「センターだより」は、センターのホームページに掲載しています。

ホームページ版では、写真がカラーで、紙面よりもやや大きく見やすくなっています。

なお、本紙掲載の行事や刊行物などのお知らせ記事は省略しています。最新号は、発行日から約2週間に後に掲載します。

平成16年度前半の動き

■人事短信

- ・唐田満雄 総務課長異動
- ・西野正恭 総務課長着任

編集・発行 北海道立アイヌ民族文化研究センター

2004年9月30日

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 5F

Tel.011-272-8801(代) Fax.011-272-8850

月～金／9:00～17:00 (土・日・祝日／休)

<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-ambkc/hacrc/hp/index.htm>

